



おれんじサロン

〜認知症でお困りの方へ〜

厚生労働省の推計によると認知症患者数は、団塊の世代が75歳以上となる2025年には700万人前後に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人を占める見込みです。認知症は特別な人に起こる出来事ではなく、身近な病気と考えたほうがいいでしょう。

市民病院では、29年度から年4回「おれんじサロン」を始めました。おれんじサロンは、認知症の介護や予防についての経験談や質問、相談などを専門職を交えて気軽に会話できるところです。頭と体を使う認知症予防体操や、認知症テストを行ない、結果によっては、もの忘れ外来への受診の必要性(かかりつけ医の先生から紹介)などのアドバイスをします。認知症の方やその家族、地域の方など、どなたでも参加できます。

認知症は、老化現象の1つと思われて、症状が出ていてもそのまま



まにされるケースがありますが、早期発見が治療のカギになります。最近、もの忘れが多くなった方だけでなく「認知症の症状について知りたい」「認知症の家族を介護していて不安なことがある」と感じたら、おれんじサロンにお越しください。

次回のおれんじサロンでは、春の花をテーマに桜などの折り紙や春の歌の歌唱を予定しています。気分転換をしながら遊びに来るつもりでお出かけください。

と き 3月8日(木)午前10時〜正午
ところ 市民病院 ホスピタルモ
ール

もの忘れ外来

市民病院では、かかりつけ医からの紹介患者さんを対象に、もの忘れ外来の診療を行っています。

認知症は早期発見・早期治療が重要です。薬の効果が大きくなる可能性があり、治療の選択の幅も広がるからです。「認知症かも」「認知症が心配」など認知症が気になったらまず地域のかかりつけ医にできるだけ早く相談しましょう。

必要な場合、かかりつけ医から市民病院へ紹介があります。

診療日 毎週水曜日
午後3時〜5時



医療機関の使い分け

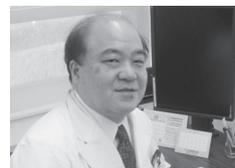
かかりつけ医を持ちましょう

先生に聞いてみた!



インタビューバトン

第11回 消化器科 部長 安藤朝章



Q 先生のご出身は?

A 春日井市です。

Q 先生が消化器科の医師を志した理由は?

A 研修医の時に消化器科の指導医の先生について仕事をして充実感があったからです。

Q 市民病院消化器科の特色は?

A 若い先生が多く、内視鏡治療に優れています。

Q 胃がんは早く見つければ治るのですか?

A 早期に発見できれば、内視鏡治療で治すことが可能です。

Q 胃がんの初期にはどんな症状がありますか?

A 腹痛、胸焼け、胃もたれなどがありますが、無症状の方が多いです。

Q 胃がんを早期発見するにはどうしたらよいですか?

A 定期的に胃カメラや胃バリウム検査を受けることが望ましいです。

Q 患者さんや地域の方々にひとこと

A 経鼻用胃カメラが充実しており、患者さんに苦痛のない検査を受けていただくようにしています。検査について心配なことがありましたら、お気軽に相談してください。

今回は歯科口腔外科の先生です